

Q & A

Q. 血糖自己測定は必要なくなりますか？

A. いいえ、頻回注射療法やインスリンポンプ療法と同様に必要です。また、CGMの使用には定期的な較正（実測血糖値の入力）が不可欠なため、この理由からも血糖自己測定は必要です。



Q. お風呂はどうしたらいいですか？

A. CGM機器とセンサは装着したまま入浴できます。
※インスリンポンプは外すことをおすすめします。

Q. アラートや一時停止、HCL機能は必ず設定する必要がありますか？

A. いいえ、必ず設定しなければならないわけではありません。主治医とその必要性について相談の上、ご自身にあった使用方法を検討しましょう。



Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ダイアビーティス
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

2021年11月改訂版
DIAB1802-07 rev.1

Medtronic

SAP療法

リアルタイムCGM併用
インスリンポンプ療法

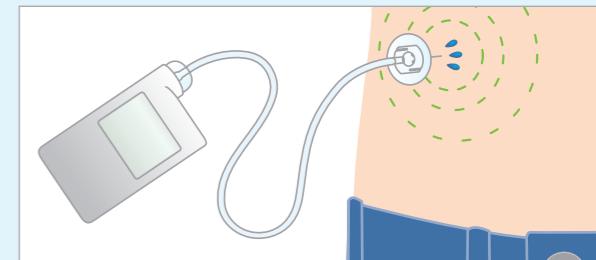


「生活に合わせた
インスリン治療」
への更なる一歩

SAP (Sensor Augmented Pump) 療法とは、リアルタイムCGMを併用したインスリンポンプ療法です。

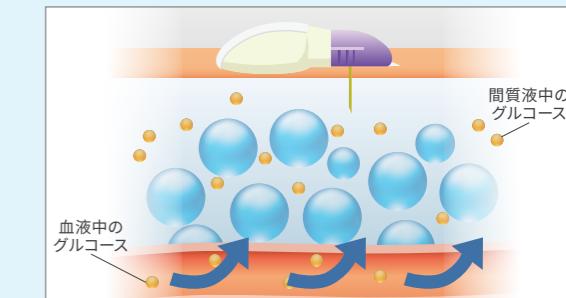
インスリンポンプ療法とは？

携帯型インスリン注入ポンプを用いて、超速効型インスリンを皮下に持続的に注入する療法です。



リアルタイムCGMとは？

CGM (持続グルコース測定) は、腹部などに専用のセンサを装着し、連続的に間質液中のグルコース濃度を測定します。この値は血糖値とよく相関することが確認されている¹ため、実際の血糖変動をシミュレーションするものとして利用されています。



リアルタイムCGM併用インスリンポンプは、CGMで間質液中のグルコース濃度を測定し、その値をセンサグルコース値としてインスリンポンプのモニタ画面に表示します。

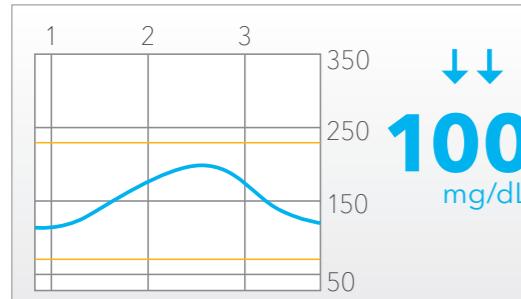
参考文献：

- Boyne MS, Silver DM, Kaplan J, et al: Timing of changes in interstitial and venous blood glucose measured with a continuous subcutaneous glucose sensor. Diabetes 52: 2790-2794, 2003

あなたの毎日の安心と 健康的な未来のために

SAP療法の特徴

- CGMで測定されたセンサグルコース値がリアルタイムでインスリンポンプのモニタ画面に表示されるため、あなた自身で**血糖変動を随時確認**することができます。

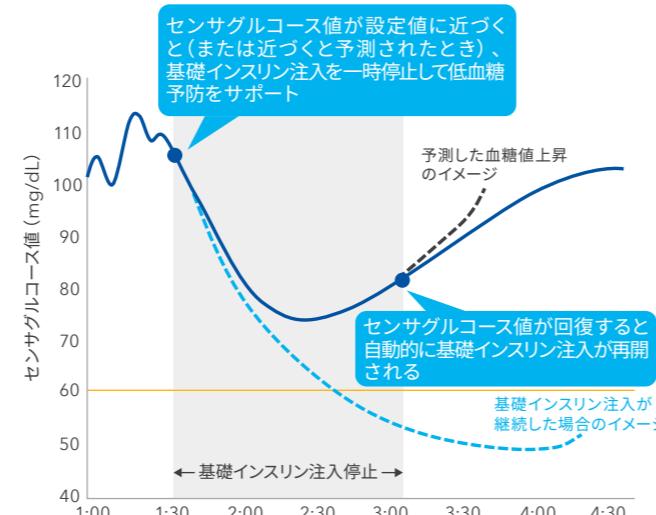


- CGMアラート
センサグルコース値が一定の範囲を超えて上昇または低下した場合には、**アラート（音やバイブでお知らせする）機能**が、あなたの血糖コントロールをサポートします。



注入一時停止

センサグルコース値があらかじめ設定した下限値に到達、または下限値に近づくと予測されると基礎インスリンを自動で一時停止し、センサグルコース値が回復すると基礎インスリン注入を自動再開。あなたの血糖コントロールをサポートします。



SAP療法の各機能を
使用する際は
必ず主治医や
医療スタッフと
よく相談しましょう。



～SAP療法は、あなたの日々の血糖コントロールをサポートします～

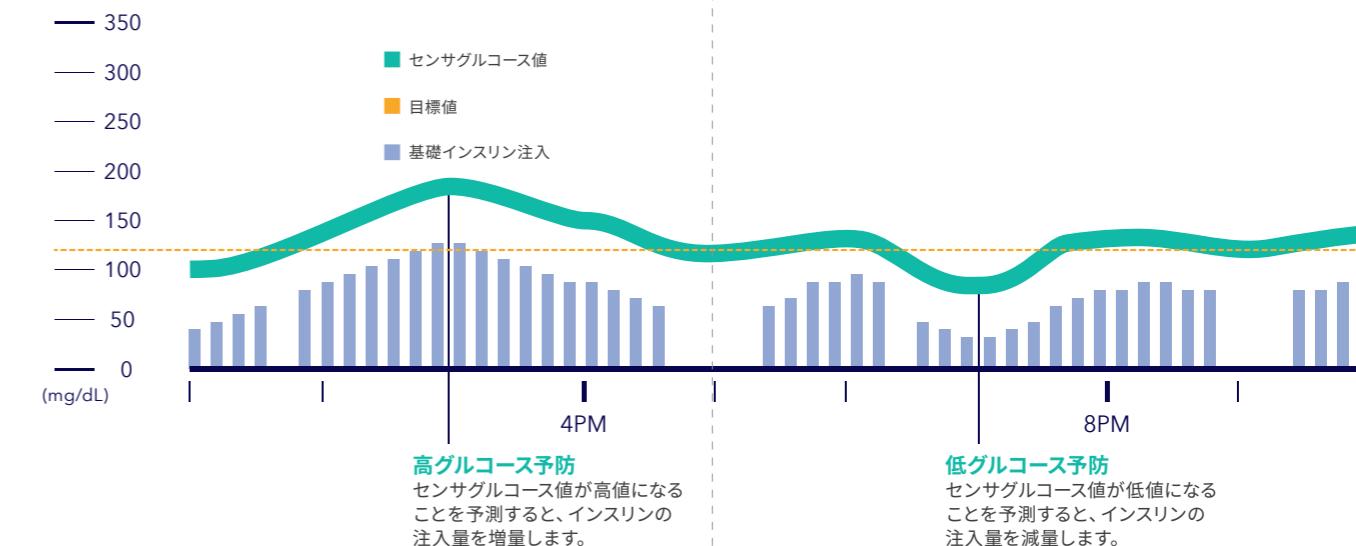
HCL (Hybrid Closed Loop:ハイブリッド クローズド ループ) 療法とは？

インスリンポンプとセンサを使うSAP療法には、HCL療法を使用できる機種があります

● ハイブリットクローズドループ

リアルタイムCGM併用インスリンポンプが、基礎インスリンを自動調整します。

リアルタイムCGMの測定データに基づいて、**システムが時間帯ごとの基礎インスリンの量を自動調整します。**



● 食事インスリンや補正インスリンなど追加インスリンは、ボタン操作で注入します。

食事前の血糖値と、食事に含まれる糖質量を入力すると、システムが目標血糖に近づけるために必要なインスリン量を計算します。

基礎インスリンを
自動調整・注入

+

追加インスリンを
マニュアルで注入

= ハイブリッド